

現代英語に現れた地名のメタファー

—「へき地」Timbuktu; Siberia と「堅固な施設」Fort Knox—

大西 博人

1. はじめに

メタファー理論の歴史は修辞法として古代ギリシャに始まり、近代になり理論として発展し確立されてきています。研究者たちは多様な学術的な立場からメタファー理論を提唱していますが、各自の分野は異なりますが共通点があるように思います。

瀬戸賢一氏はその著書のなかで、メタファーを次のようにわかりやすく説明しています。メタファーは、一言で言えば、典型的には抽象的でわかりにくい未知なものを、具象的でわかりやすい既知のものと表現する、見立てによって理解する方法です。メタファーにはある概念の断面を鮮やかに切り取り、言いがたいことをズバリ一言で言い表す力があると述べています。氏の説明はわかりやすく明快です。しかし、実際に現れたメタファーには多様な側面があると思われます。現代英語、主に英米人によって書かれたテキストに現れたメタファーのうち、地名のメタファーをメタファー理論も参考にして紹介していきます。メタファーは下線部分で示します。

2. 「遠くの未知の地、へき地」を表す Timbuktu

Timbuktu は、西ヨーロッパから遠く離れたサハラ砂漠南部にある西アフリカのマリ共和国にあり、ニジェール川の流域に位置する砂漠の遊牧民トゥアレグ族の町です。古代より長らくサハラ砂漠を越えてきた商人の交易点として発展し、14世紀には金の交易地として有名になり、16世紀の初頭には10万人以上の人口を抱える通商路の中継地として繁栄を極めました。その後は人口も減少してきました。現在でも砂漠地帯の中の物資の集散地の村であることには変わりはありませんが、周囲の砂漠化の進行も進み、日干し煉瓦の家々が並ぶひどい貧困に見舞われている状況にあります。

アフリカの砂漠地帯の中にある町ティンブクトゥは、西洋人には文明から遠く離れた「最果てのへき

地」という概念が濃厚に沈殿していて、現在ではメタファーとして現れています。

(1) “Dawes? That’s you? You married Dawes? You did pretty well for yourself”, he said, regaining interest.

“Not at all, if it’s money that you mean. But if you mean the man, yes, I couldn’t have done better. I’d go on my knees from here to Timbuktu for him. I love him.”—Belva Plain, *Secrecy*, Delacorte Press 1997, p.245

ここでは友人の男性から Dawes と結婚したことは上出来だったのではと言われたことに対して、Claudia が金銭的ではなくてドーズを愛していたから結婚したのだと反論しているところです。彼のためなら足をひきずってもここから「地の果て」までも行くだろうと述べているのです。

(2) Gillian was at her desk, with the computer on. She hadn’t been able to uncover any more details or updates about the stabbing on Halloween night.

“Let me make some calls to New York,” said her friend, Ruth Langford, on the other end of the line. “I’ll dig around and get back to you, hon. In fact, I might hit you up for lunch or coffee—unless you have an autograph session in Timbuktu or some other place.”—Kevin O’Brien, *Killing Sprees*, Pinnacle Books 2012, p.51

ミステリー小説作家 Gillian は、ハロウィーンの夜の刺傷事件について元警官で友人の Ruth に調査を依頼していましたが、ルースからの電話を受けた

場面です。ジリアンは新作のキャンペーンとしてブックパーティーに出かけていたので、ルースはキャンペーンで遠くに出かけていなければランチかティーで調査報告をすると答えているところです。この小説の舞台であるワシントン州内の「遠くの場所」を Timbuktu という地名を用いて表しています。ここでは当然ながら誇張して用いていますが、「サイン会でよほど遠くまで行く場合を除いて」という彼女の含意がこのメタファーに読み取れます。

(3) As fighting raged in the streets of the West Bank and Gaza late last month, Israel's opening of the now infamous Jerusalem tunnel was denounced from Turtle Bay to Timbuktu as a desecration of the Islamic holy sites in Jerusalem. It took nearly a week and fully 70 dead before the truth began to trickle out: the charge was a lie.—*time.com*, Oct. 14, 1996

イスラエルがエルサレムのトンネルを開けたことに抗議する街頭デモが、ヨルダン川西岸とガザ地区で荒れ狂い、Turtle Bay から Timbuktu まで世界中からイスラムの聖地エルサレムの冒瀆だとする非難が噴出したのです。タートル・ベイは、ニューヨーク市の East River を臨むマンハッタン島の国連本部のある地区で、「大都市」のメタファーになっています。一方、ティンブクトゥは世界中のイスラム教徒の暮らす「へき地」を表すメタファーです。

3. 「荒涼とした遠い場所や悪化した職場環境」を表す Siberia

「ティンブクトゥ」は世界の中の「地の果て」を表すメタファーとして現れますが、国内での「へき地」を表す Siberia も同様な意味で用いられています。

シベリアはロシア北部の中央から東部にわたる広大な、冬は極寒の地で、居住者は小さな集落をなして散在する人口密度は極めて低い地域です。シベリアはロシア史上、何世紀にもわたり政府の怒りを持ったロシア人の政治犯や刑事犯の流刑地として知られてきました。厳しい自然環境と刑罰の地としてのシベリアは物理的な場所だけでなく、“sent to Siberia” という表現で降格や不名誉やその他の地位

の悪化を示す「都落ちとなる；左遷となる」を意味するメタファーとしても用いられてきています。

(4) “So I hear, yes, Noyce ... Noyce was known to be dirty, is that what you're telling me?”

“Hell, there's a reason Jack got sent to Siberia, right?”

“Siberia?”

“No offense, sweetheart. But from where I sit, Fenwick is Siberia.”—Joseph Finder, *Company Man*, St. Martin's Paperbacks 2006, p. 492

男性刑事は同僚の Audrey に、同僚の Jack Noyce が左遷されたと述べている場面です。左遷されたという意味で、got sent to Siberia と言ったのに対して、オードリーは「シベリアに？」と聞き返しています。それに対して、自分のいる場所からすると、赴任先の町 Fenwick はシベリア、すなわち遠くにある「都落ちのへき地」だと述べているのです。

(5) “On July 13, 1978, I was fired. I had been president of Ford for eight years and a Ford employee for thirty-two. It was gut-wrenching.” From his spacious suite atop World Headquarters, attended by white-coated servants, he was exiled to “Siberia,” a warehouse cubicle in the farthest corner of Henry Ford's kingdom.—*Newsweek*, April 24, 1995, p. 32

これはフォード社に 32 年勤務し、そのうち 8 年間は社長を務めた Lee Iacocca の自叙伝についての報道です。名声を博していたアイアコッカは、1970 年代に入り彼の独断的な経営方針をめぐりフォード 2 世会長と対立し、降格人事を受けましたが、その当時を回顧した記事です。正装した部下たちに囲まれた本部の社長スイート室から、会社の敷地のはるかに離れた片隅にある工場の小部屋へ左遷されたのです。社長室から遠く離れた新たな職場を“Siberia” というメタファーで表しているのです。

(6) One cellblock in the Ma'ekelawi prison in the Ethiopian capital, Addis Ababa, is known

as the Dark House. Its chilly, dank cells are underground, including four pitch-black cells too narrow for inmates to sit or stretch their arms or legs. It has a second nickname: Siberia.—*latimes.com*, January 3, 2018

エチオピアの首都アジス・アババにある通称マエケラウィ拘禁施設(連邦警察犯罪捜査部)は「ダーク・ハウス」というあだ名で知られています。その施設は、はじめじめとして冷える地下にあり、収監者たちが手足を伸ばせないほど狭くて真っ暗な独房ブロックもあるのです。このような荒涼とした場所のニックネームをメタファー Siberia で言い表しているのです。

4. 「難攻不落の施設」を表す Fort Knox(米政府の金銀貯蔵庫)

Fort Knox は合衆国ケンタッキー州北部にある軍保留地で、装甲部隊本部と米国金銀塊保管所があります。1918年、陸軍野戦砲兵隊士官学校が設置されたことに始まり、1940年からは装甲部隊司令部が、続いて本部が移駐され、その後も軍施設として整備されました。1936年に設置された金銀塊保管所は、厳重な防空建築物で、幾重幾層もの保安システムが設けられています。1950年には保管金銀高は100億ドルに達していたと言われています。この極限の警備体制を施した金銀塊保管所「フォート・ノックス」は、「侵入不可能な施設」のメタファーとして用いられています。

(7) “A break in the case?”

“To be honest with you, I don’t know what it is. We may be chasing rainbows—or shadowy figures in windows and shoe prints in dusty rooms—but that’s all we’ve got to do at this point.”

“Okay. What do you need?”

“Mercer’s got a receipt for something that’s in storage. You know Day & Meyer?”

“The Fort Knox of storage facilities. I’ve heard of it.”

“We’re about to go in to try to access a particular container.”—Linda Fairstein, *Death*

Angel, A Signet Select Book 2014, p.368

ニューヨーク地区の検事補の主人公 Alexandra が同僚 Nan と、刑事の Mercer が保管庫に預けたレシートを入手したことについて情報交換をしている場面です。その保管庫会社 Day & Meyer の保管施設は立ち入りが困難なことで知れわたっていることを伝えるために、その保管庫を The Fort Knox と表現しています。

(8) In the U.S. in 2012, an 82-year old nun and two other peace protestors broke into Y-12, a facility in Tennessee that contains the world’s largest repository of highly enriched uranium (HEU) in metal form and until the incident was colloquially known as “the Fort Knox of HEU” for its state-of-the-art security equipment.—*time.com*, March 24, 2014

テネシー州にある Y-12 という高度濃縮ウランを金属の形態で含む世界最大の鉱床がある施設に、反対派の活動家が侵入したことを伝える報道です。この事件が起こるまでは、この施設は高度濃縮ウランの the Fort Knox として知られていたことを伝えていきます。

(9) To ensure that an agricultural doomsday never comes, Fowler and his colleagues have organized the Svalbard Global Seed Vault, an international seed bank built into a mountain on a Norwegian island in the Arctic. A Fort Knox for seeds, the vault will be a backup for the backups and will eventually be expanded to include genetic samples of every crop on the planet.—*time.com*, February 11, 2008

北極海のノルウェーの島には、世界中の種子を保存する貯蔵施設 the Svalbard Global Seed Vault が整備されてきた。種子を二重三重に保護し、農業の終末を阻止するために組織された対策で、将来は地球上のあらゆる作物の遺伝子サンプルを収納することになっているのです。この幾重にも護られた施設を A Fort Knox で表現しているのです。

(10) Nintendo on smartphones isn't easy money. "Unfortunately there's a simplistic mentality out there, that 'Make a Mario game for smart devices' is a recipe for printing money," says Fils-Aimé when I ask about the mindset that presumes Nintendo on mobile is going to crack open Fort Knox. "And it's not. It just simply is not. It's that Kyoto craftsmanship mentality that says whatever we're going to do, it needs to be a wonderful experience for consumers."—*time.com*, December 10, 2015

これは任天堂のスマホによるゲームソフトで収益を上げようとする戦略について、記者が任天堂米法人の最高執行責任者 Reggie Fils-Aimé に取材した記事です。この戦略でお金を印刷するように稼ぐことができるという見通しに、フィサメイは、このような単純な戦略は堅固で厳しいゲームソフトのマーケットを打ち破ることはないだろうと述べています。記者はここで、競争の激しいゲームソフトの世界を Fort Knox と表現しています。

5. まとめ

本稿では地名のメタファー、西アフリカの Timbuktu, ロシアの Siberia, 米国ケンタッキー州の Fort Knox を取り上げました。「ティンブクトゥ」という一語は、多くの字数を費やすことなく「遠い未知の場所」という意味を余すことなく相手に伝えることができます。用例(2)に見るように、

それほど遠くない場所でも誇張して用いても効果的なメタファーとなっています。

「シベリア」は地理的に日本に近く、シベリア派兵など歴史的にも関係もあったため、日本語でも「シベリア送り」というメタファーがあり、Siberia のメタファーは極寒の自然状況を即座に喚起させます。これが企業社会にも用いられ、用例(4)(5)のように左遷や降格のメタファーとして定着しています。また Fort Knox も 007 シリーズの *Goldfinger* (1964) など多くの映画の場面で多くの人びとに知られているため、幾重にも設けられた警備システムを説明することなく映画などの映像を呼び起こすこのメタファーは言語効率のよい表現となっています。

上述の諸用例に見るようによく知られていない地名を表現するとき、既に広く共通理解され既知の場所となっている Timbuktu, Siberia, Fort Knox を用いていることにより、主題となっている場所が受け手の知識と喚起されたイメージによって即座に、より鮮明に理解されるのです。

参考文献

- Hirsch, E. D., Joseph F. Kett and James Trefil.
(1993) *The Dictionary of Cultural Literacy*.
Boston: Houton Mifflin Company.
京大西洋史辞典編纂会(1993) 『新編 西洋史辞典』
創元社
瀬戸賢一(2005) 『よくわかる比喩』 研究社

(兵庫県立伊川谷高等学校 嘱託講師)